

## 12月の季語 重ね着

### 赤といふあたたかさ色着重ねて 宮崎 房子

冬に見る「赤」はほんとうに暖かい!

アメリカのおばあさん画家・ターシャ・チューダーは、手作りの赤いペチコートを受用して、「雪に埋もれるバーモント州の寒い冬もこのペチコートさえあれば大丈夫」と、スカートの中から赤いペチコートを覗かせている。

還暦を迎えるチョイワルおやじの友人は、「赤が似合う年になりました」と書いてきた。う〜ん確かに、白い髪に赤いマフラーやセーターはよく似合って、あたたかそうに見える。と、こんな話をツボに詳しい整体師さんに話すと、「赤には体を温める効果があります」と教えてくれた。曰く、「赤い下着でお腹のツボ丹田(たんでん)を覆うと血行が良くなって、冷え性を改善できる」とのこと。

ほんと、毛糸のパンツは「赤」に限る!のね。

重ね着といえば、日本の女の子の重ね着が、世界中のファッションな人たちから「カワイイ」と注目された。ワンピースの下にジーンズやスパッツを穿くスタイルは、以前「ハニワ(埴輪)」と呼ばれたこともある、「寒さしのぎ」として始まったちょっと不精な重ね着。今では、若い女性だけでなく、中高年にも浸透しつつあるファッションとなった。「パキスタンやインド、イランの服にはワンピース+パンツは元からあったでしょう」「エスニックな布地に合う形なのよ」と理解すれば、中高年女性にも抵抗なし、というわけで、ウォームビズは重ね着から! 重ね着は「体系隠しになるしね」

### クリスマス飾り ポプリ+クッキーハウス

冬の日の夜なべ仕事。ちくちくと小さな袋を縫って、中にラベンダーの花を詰め、ポプリを作りました。赤いリボンを結ぶとクリスマス・ポプリらしくなります。



お菓子の家(ヘクセンハウス)も作りました。壁、屋根、煙突など、ひとつずつクッキーを焼くので、時間がかかります〜。そして、砂糖と卵白で作るアイシングを接着剤にして組み立てました。



### ウォーム ビズ

地球温暖化防止のために環境省が提唱する<オフィスの暖房時の室温を20にする>に応じて、「暖房に頼り過ぎず、適切な服装で冬を暖かく快適に過ごす」ためのビジネススタイルが「ウォームビズ」。「クールビズ」の秋冬版です。

さらに、企業の節約意識やエコロジー意識の高まりから、通常勤務時間以外は冷暖房をOFFしてしまう会社もある。と、社内に勝手にストーブを持ち込むことはできないから、こういう会社の残業ではウォームビズ以上の寒さ対策を講じなければならない。

実際、永田町の高層ビルで働く友人に聞いた話では、深夜残業はコート着用で、窓際は冷え込みがキツイので近寄らないことにしているそう。そして可笑しいのは、冷え冷えとする大きなガラス窓から見ると、間近に迫る国会議事堂がライトアップされていることだという。

### カラータイツが人気!

去年、流行ったの黒いスパッツ(レギンス)に代わって、この冬の人気は派手色タイツ。百貨店やネット通販も“足元にアクセントをプラス”とか、“カラータイツで差し色を”と勧めているし、紫や緑のカラフルなタイツは大人気。カラータイツ+ブーツは、それだけで今年風に見える、ということもあって、簡単便利なウォームビズに適っている。

### 高機能下着に注目。

スポーツウエアの吸湿発熱素材を応用した高機能下着も今シーズンは豊富。その中で、動きやすく暖かい上に、余分な熱や汗は外に逃す機能性が高く、さらに肌触りがよく、価格も安いとすれば、ユニクロの「ヒートテック」です。例えば、ヒートテックモイストタイツは1000円。Tシャツは1000~1500円。12月に入って既に品切れも出たという。

### 湯たんぽも人気。

エコに合うと人気の湯たんぽ。クリスマスプレゼント向けのかわいい形も出揃っている。



ハート型湯たんぽ(カバー付き) 3,990円

こだわる人には、ハンドメイド純銅製の湯たんぽ(ドイツWALL社製13,650円)など高級品も人気のようですが、昔ながらのプリキ製湯たんぽ(1,800円)もなかなか味があります。これを好みのチェックのマフラーで包んだらカワイイ。



太もも、おなか、腰まわり、足元を順繰りに暖めると、全身がポカポカする。ただし、同じ部分を暖め続けると、低温やけどの危険があるので、注意が必要!